

# 埼玉県

## 今年度の取り組み(前回会合以降12月末までの動き)

活動1:環境保全技術研修員の受入 日程:2014年11月17日~12月17日  
内容:山西省環境監視センター及び環境企画院から研修員を受け入れ、環境保全技術研修の実施・山西省における環境問題の討議を実施。

活動2:ニーズを捉えた共同事業 実施期間:2013年~2015年  
内容:山西省側の要望に応えた共同事業(水環境分野)を実施、大気環境分野における更なる連携を強化。

## 今年度(2015年1~3月)の予定

活動3:27年度に向けた連携・協力への準備・調整  
内容:27年度からの大気分野における協力方針や展開方法を明確化するため、山西省担当機関との協議を実施(ニーズの把握、課題の明確化)。

## 来年度以降の予定

- 山西省におけるPM2.5試料採取を実施し、実態を詳細に把握する。
- 分析技術習得を目的に、技術職員の研修を実施。
- 行政・技術職員の招聘・訪問といった相互交流を進め、政策的・技術的な情報の共有を図る。

# 今年度の取り組み(前回会合以降12月末までの動き)

## 活動1の紹介:環境保全技術研修員2名の受け入れ

日程:2014年11月17日~12月17日

主な活動内容:

1. 埼玉県環境科学国際センターにおける環境保全技術研修
2. 埼玉県内の廃棄物処理及びばい煙発生施設等の視察
3. 一般環境モニタリングに関する実地研修
4. 山西省の環境問題の紹介と討議

主な成果:

1. 環境保全施策の理解及び先進測定技術等の習得
2. 研修成果発表会の実施(12月16日)

山西省環境監視センター  
张利琴 研修員

山西省環境企画院  
贾婷 研修員



環境部長表敬表門  
埼玉親善大使を委嘱

## 活動2の紹介:ニーズを捉えた共同事業(山西省水環境保全モデル事業)の実施

実施期間:2013~2015年度

主な活動内容:

1. 山西省側から、水質汚濁が著しい河川の水質改善に関する技術支援要請
2. 環境科学国際センターと山西省環境生態研究センターで協議の上、山西省晋城市の主要河川である沁河及び丹河を対象にモデル事業に着手
3. 丹河人工湿地における水質モニタリング解析及び水質浄化評価
4. 現地生物調査に基づく、水生生物による河川水質評価指標の作成

主な成果:

1. 各年度、2回延べ8人の研究者派遣と1回5人の技術者受け入れ
2. 平成26年11月20日「川の再生セミナー」実施。発表:日本3題、山西省1題



「川の再生セミナー」の様子

# 今年度(2015年1~3月)の予定

## 活動3の紹介: 27年度に向けた連携・協力への準備・調整

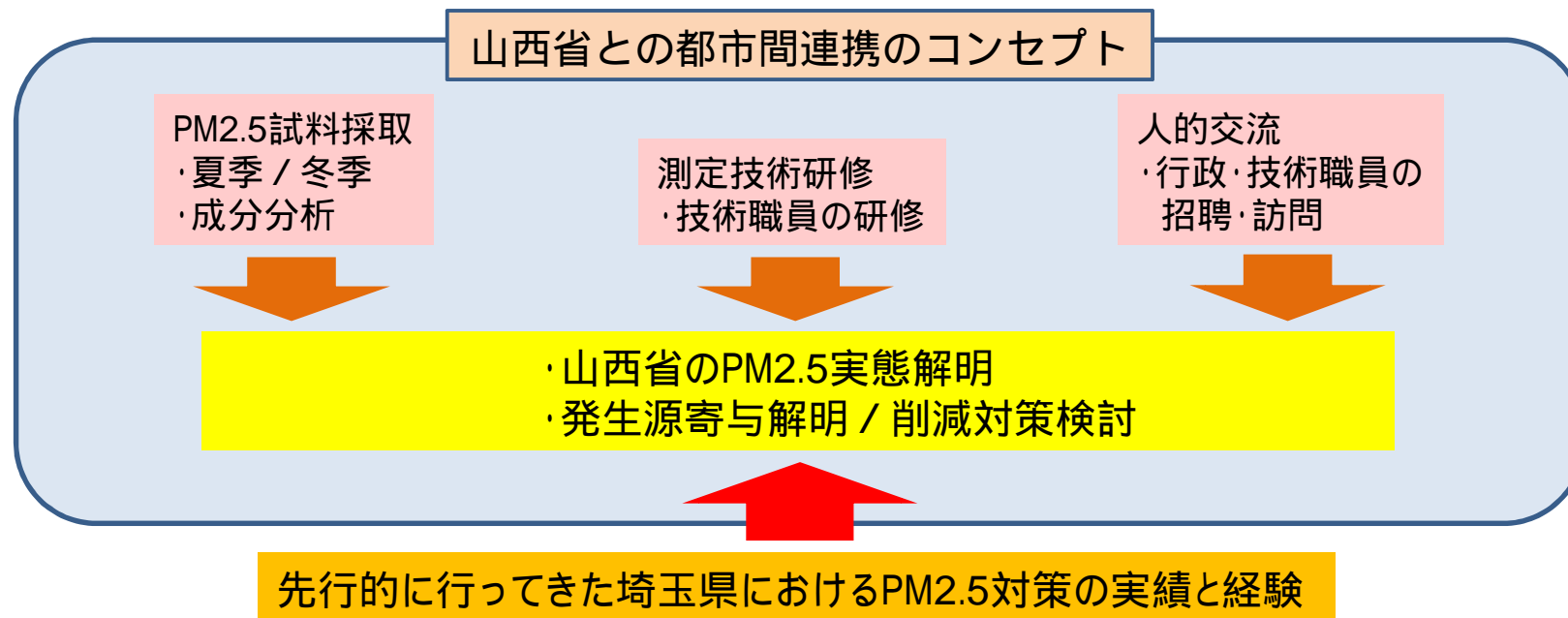
日程:

主な活動内容(予定):

1. 山西省環境保護庁の環境企画院及び生態環境研究センターとの事前調整
2. 大気環境分野における連携強化に向けたより具体的なニーズの把握
3. 山西省側カウンターパートの決定

期待する成果:

1. 山西省(市レベルを含む)の大気環境保全分野における課題の明確化
2. 来年度の協力方針や展開方法の明確化



# 来年度以降の予定

- 山西省におけるPM2.5の実態把握

市の協力のもとに試料採取を行い、詳細な成分分析を実施。

- 測定技術研修

分析技術習得を目的に、技術職員の研修を実施。

- 人的交流

行政・技術職員の招聘、訪問。政策的・技術的な情報交換の実施。

これらの活動を通じて、山西省におけるPM2.5の削減のため、詳細な成分の把握と発生源寄与率の解明を行う。

山西省太原市の大気汚染



PM2.5採取装置

## その他

### 平成25年度における大気分野での交流実績

日程：2014年2月25日～3月1日（4泊5日）

主な活動内容：

1. 埼玉県環境科学国際センター 坂本総長他が山西省を訪問し、環境保護庁郭庁長とPM2.5対策などに関して意見交換
2. 山西大学“日中環境技術シンポジウム”における講演

主な成果：

1. 山西省介休市バイオマス発電施設を視察、ばい煙排出の実態を把握
2. シンポジウムには約250人が参加、日本の大気汚染の歴史と対策技術等に関する講演を実施



郭庁長との  
会談



坂本総長の  
講演